

# ならしん景気動向調査レポート

(第29回) 2022年 3月期

奈良信用金庫 支店部 奈良県大和郡山市南郡山町529-6

TEL (0743-54-3116) URL <https://www.narashin.co.jp>

1. 調査期間..... 2022年3月
2. 調査時点..... 2022年3月
3. 調査対象..... 当金庫取引事業先  
※対象先は任意に選定(毎年一部見直し)
4. 調査方法..... 往訪面談・電話等によるヒアリング調査
5. 回答状況

	対象先数	回答先数	回答率
製造業	38	36	94.7%
不動産業	16	16	100.0%
サービス業	15	15	100.0%
卸売・小売業	28	27	96.4%
建設業	15	14	93.3%
運輸業	9	9	100.0%
医療・福祉	11	10	90.9%
全業種合計	132	127	96.2%

当金庫でお取引をいただいている事業先から業種に偏りのないよう132社を任意に選定させていただき、最近の業況・資金繰り等、景気動向に関連するアンケート項目の聞き取りについて、ご協力をお願いいたしました。  
うち、127社よりご回答を賜りました。

# 今回調査結果一覧

2022年3月

全業種

				DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI
	対象先数	回答先数	回答率	業況	売上金額	収益	資金繰り	前年同期売上	前年同期収益	残業時間	人材
製造業	38	36	94.7%	-13.2%	-10.5%	-34.2%	0.0%	10.5%	-15.8%	0.0%	-23.7%
不動産業	16	16	100.0%	18.8%	18.8%	6.3%	25.0%	12.5%	-6.3%	6.3%	6.3%
サービス業	15	15	100.0%	-20.0%	-20.0%	-26.7%	6.7%	-26.7%	-33.3%	0.0%	-26.7%
卸売・小売業	28	27	96.4%	0.0%	7.1%	-17.9%	3.6%	21.4%	10.7%	17.9%	-7.1%
建設業	15	14	93.3%	0.0%	6.7%	6.7%	33.3%	6.7%	6.7%	6.7%	13.3%
運輸業	9	9	100.0%	33.3%	44.4%	0.0%	0.0%	44.4%	0.0%	22.2%	11.1%
医療・福祉	11	10	90.9%	54.5%	54.5%	54.5%	45.5%	72.7%	72.7%	-27.3%	-9.1%
全業種合計	132	127	96.2%	3.0%	6.8%	-10.6%	12.1%	15.9%	0.0%	4.5%	-9.1%

	借入実施		設備投資実施			
	あり	なし	あり	なし		
製造業	22	14	11	25		
不動産業	7	8	3	12		
サービス業	9	6	6	9		
卸売・小売業	13	14	8	19		
建設業	10	3	7	6		
運輸業	4	5	5	4		
医療・福祉	4	6	5	5		
全業種合計	69	56	45	80		

「DI」について

「diffusion index (ディフュージョン・インデックス)」の略で、景気・業況などの動きを示すものです。  
このレポートでは、お客さまからいただいたご回答のうち「良い」「やや良い」の割合から、「やや悪い」「悪い」の割合を引いたものを記載しています。

(例) 業況について ご回答 (5社)

A社	(1) <u>良い</u>	(2) やや良い	(3) 普通	(4) やや悪い	(5) 悪い
B社	(1) 良い	(2) <u>やや良い</u>	(3) 普通	(4) やや悪い	(5) 悪い
C社	(1) 良い	(2) やや良い	(3) <u>普通</u>	(4) やや悪い	(5) 悪い
D社	(1) 良い	(2) やや良い	(3) 普通	(4) <u>やや悪い</u>	(5) 悪い
E社	(1) <u>良い</u>	(2) やや良い	(3) 普通	(4) やや悪い	(5) 悪い

$$DI = \left[ \frac{(\text{良い} \times 2 + \text{やや良い} \times 1) \div 5社}{60.0\%} \right] - \left[ \frac{(\text{やや悪い} \times 1 + \text{悪い} \times 0) \div 5社}{20.0\%} \right] = 40.0\%$$

全体  
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
0.0%	3.0%	3.0%	3.7%	6.8%	3.1%	-7.5%	-10.6%	-3.1%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
16.4%	12.1%	-4.3%	20.9%	15.9%	-5.0%	20.1%	0.0%	-20.1%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
10.4%	4.5%	-5.9%	-3.7%	-9.1%	-5.4%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
51.6%	55.2%	3.6%	33.9%	36.0%	2.1%			

## ■概況 ※( )内はDI値

全業種合計の業況判断DIは前回調査時より3.0ポイント上昇し、良化傾向(3.0%)に転じた。  
変化幅を上方へと向かわせたのは主に「運輸」「医療・福祉」という結果になった。

売上についても、前回調査時より3.1ポイントの上昇となり、良化傾向(6.8%)を維持。  
変化幅を上方へと向かわせたのは主に「運輸業」「医療・福祉」という結果になった。

収益面についても前回調査時より3.1ポイントの低下となり、悪化傾向(-10.6%)という結果になった。  
製造業・不動産業が下方へと向かわせる結果になった。

全体では最も多くの企業が「仕入高・原材料高」を経営上の問題点として回答した。

次点で「利益幅の縮小」「人手不足」「売上停滞・減少」と続いた。

それらの解決策として「販路拡大」「経費削減」「人材確保」を当面の重点経営施策として挙げる企業が多く見受けられた。

特別調査では、コロナ禍における事業見通し及び信用金庫に求めることについて企業に回答いただいた。

コロナ禍での自社業界における事業見通しで最も回答が多かったのは「見通しが立たない」で48社であった。

次点で「すでに回復している」「概ね3ヶ月以内に回復」が続いた。

信用金庫に求めることについては融資スタンスを求める企業が前回同様に54社と最も多かった。

また前回と異なり、「地域情報」が43社と次点となった。

借入によって資金調達を行ったのは回答者全体の55.2%となり、前回とほぼ横ばいの推移となった。

全業種合計の前年同期比売上は前回調査時から5.0ポイント低下したものの、良化傾向(15.9%)を維持。

前年同期比の収益については20.1ポイント低下し、こちらは中立に転じた。

なお、設備投資を行ったのは全体の36.0%であり、前回調査時より2.1ポイント上昇した。

今後3ヶ月の業績・売上額・収益の見通しについては、前回調査時より全ての項目で「やや悪い」「悪い」と答えた企業が増加しており、「やや良い」「普通」と回答する企業は減少した。

■特別調査	コロナ禍における事業見通しについて、および今後3ヶ月の業績見込みについて
自社業界における事業見通しについて	(1)概ね3か月以内に回復 18社 (2)概ね6か月以内に回復 16社 (3)1年以内に回復 14社 (4)1年以上経過後に回復 17社 (5)見通しが立たない 48社 (6)すでに回復している 22社
コロナ禍で信用金庫に求めること	(1)融資スタンス54社 (2)地域情報43社 (3)業界動向21社 (4)事業課題の共有・相談36社 (5)補助金等の情報24社 (6)事業回復に向けてのビジネスマッチング17社 (7)その他2社
業績(今後3ヶ月見込み)	「良い」6社、「やや良い」29社、「普通」61社、「やや悪い」23社、「悪い」8社
売上額(今後3ヶ月見込み)	「良い」5社、「やや良い」29社、「普通」65社、「やや悪い」20社、「悪い」8社
収益(今後3ヶ月見込み)	「良い」4社、「やや良い」24社、「普通」66社、「やや悪い」21社、「悪い」12社

業種別の概況・経営上の問題点・当面の対策・その他特別に調査した項目については、次ページ以降に内容を記載しております。

業種別  
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
-8.1%	-13.2%	-5.0%	-2.7%	-10.5%	-7.8%	-21.6%	-34.2%	-12.6%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
2.7%	0.0%	-2.7%	13.5%	10.5%	-3.0%	8.1%	-15.8%	-23.9%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
13.5%	0.0%	-13.5%	-10.8%	-23.7%	-12.9%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
52.9%	61.1%	8.2%	26.5%	30.6%	4.1%			

## ■概況 ※( )内はDI値

製造業全体の業況判断DIは前回調査時より5.0ポイント低下し、悪化傾向(-13.2%)となった。

売上金額については7.8ポイント低下し、同様に悪化傾向(-10.5%)となった。

原材料価格についても前回調査時と比較して19.6ポイント低下し悪化傾向(-73.7%)となった。

収益についても、前回比で12.6ポイント低下し、悪化傾向(-34.2%)を示した。

上記により資金繰りについては前回調査時より2.7ポイント低下したものの、中立を維持した。

なお、借入によって資金調達を行った先は全体の61.1%であり、前回より増加している。

前年同期比売上は前回より3.0ポイント低下したが、良化傾向(10.5%)を維持。

また、同収益は前回調査時より23.9ポイントの低下が見られ、悪化傾向(-15.8%)に転じた。

残業時間については前回比13.5ポイント低下し、中立となった。

人材については12.9ポイント低下し悪化傾向(-23.7%)となった。

なお、設備投資を行った先は全体の30.6%で、前回より4.1ポイント増加している。

## ■経営上の問題点

前回調査と同様に、経営上の問題点として「原材料高騰」が31社で最も多く、次点で「利益幅の縮小」が18社、「売上停滞・減少」が12社と続いた。

## ■当面の重点経営施策

依然、対策としては「販路拡大」が最も多く、18社で重点施策とされている。次いで「商品性の拡大」13社「経費削減」「技術力・営業力強化」が12社となっている。

■特別調査	コロナ禍における事業見通しについて、および今後3ヶ月の業績見込みについて
自社業界における事業見通しについて	(1)概ね3か月以内に回復 3社 (2)概ね6か月以内に回復 7社 (3)1年以内に回復 3社 (4)1年以上経過後に回復 4社 (5)見通しが立たない 15社 (6)すでに回復している 6社
コロナ禍で信用金庫に求めること	(1)融資スタンス13社 (2)地域情報6社 (3)業界動向8社 (4)事業課題の共有・相談15社 (5)補助金等の情報8社 (6)事業回復に向けてのビジネスマッチング8社 (7)その他0社
業績(今後3ヶ月見込み)	「良い」3社、「やや良い」7社、「普通」11社、「やや悪い」12社、「悪い」3社
売上額(今後3ヶ月見込み)	「良い」3社、「やや良い」7社、「普通」12社、「やや悪い」11社、「悪い」3社
収益(今後3ヶ月見込み)	「良い」2社、「やや良い」5社、「普通」15社、「やや悪い」7社、「悪い」7社

オミクロン株を中心に新型コロナウイルス感染状況は1月以降に悪化、業況・売上・収益等様々なDIは軒並みポイント低下となりました。しかしながら資金繰りDIは2.7%程度の低下にとどまっており、コロナ対策融資での資金調達の動きは一段落したと思われます。

原材料高の動きが顕著であり、今後の業績見通しについては前回調査時には無かった「悪い」の回答を行った企業も一定数存在しており、業況悪化傾向がうかがえる結果となりました。

業種別  
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
23.5%	18.8%	-4.8%	17.6%	18.8%	1.1%	23.5%	6.3%	-17.3%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
47.1%	25.0%	-22.1%	41.2%	12.5%	-28.7%	41.2%	-6.3%	-47.4%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
5.9%	6.3%	0.4%	5.9%	6.3%	0.4%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
64.7%	46.7%	-18.0%	23.5%	20.0%	-3.5%			

## ■概況 ※( )内はDI値

不動産業全体の業況判断DIは前回調査時より4.8ポイント低下したものの、良化傾向(18.8%)を維持。売上についても1.1ポイント上昇し、良化傾向(18.8%)を維持。収益については17.3ポイント低下したものの、良化傾向(6.3%)を維持。

資金繰りについては22.1ポイント低下したものの、良化傾向(25.0%)を維持した。借入によって資金調達を行った先は全体の46.7%であり、18.0%減少した。

前年同期比売上は、28.7ポイント低下したものの、良化傾向(12.5%)を維持した。同収益については、47.4ポイント低下し悪化傾向(-6.3%)に転じた。残業時間については前回調査時から0.4ポイント上昇した、良化傾向(6.3%)を維持した。人材については0.4ポイント上昇し、良化傾向(6.3%)を維持した。設備投資実施企業は前回調査時と比べほぼ横ばいとなった。

## ■経営上の問題点

経営課題としては、「売上停滞・減少」「同業者競争の激化」が4社で並んでトップとなった。

## ■当面の重点経営施策

当面の対策は前回調査時に続き「情報力の強化」が6社と最も多かった。次点で「経費削減」が4社と続いている。

■特別調査	コロナ禍における事業見通しについて、および今後3ヶ月の業績見込みについて
自社業界における事業見通しについて	(1)概ね3か月以内に回復 1社 (2)概ね6か月以内に回復 1社 (3)1年以内に回復 2社 (4)1年以上経過後に回復 5社 (5)見通しが立たない 6社 (6)すでに回復している 3社
コロナ禍で信用金庫に求めること	(1)融資スタンス8社 (2)地域情報10社 (3)業界動向1社 (4)事業課題の共有・相談4社 (5)補助金等の情報1社 (6)事業回復に向けてのビジネスマッチング1社 (7)その他0社
業績(今後3ヶ月見込み)	「良い」1社、「やや良い」4社、「普通」9社、「やや悪い」2社、「悪い」0社
売上額(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」4社、「普通」10社、「やや悪い」2社、「悪い」0社
収益(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」4社、「普通」10社、「やや悪い」2社、「悪い」0社
<p>不動産業は業況・売上・収益等様々なDIに関しては概ね良化傾向を維持しております。また、借入により資金調達を行った先については18%減少しており、調達の動きは一段落ついたと思われます。</p> <p>今後の業績見通しが「良い」の回答を行った企業も前回と比べ増え、従来の経済活動への戻りが早い傾向がみられました。</p>	

業種別  
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
-28.6%	-20.0%	8.6%	-28.6%	-20.0%	8.6%	-28.6%	-26.7%	1.9%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
14.3%	6.7%	-7.6%	28.6%	-26.7%	-55.2%	7.1%	-33.3%	-40.5%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-26.7%	-26.7%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
42.9%	60.0%	17.1%	35.7%	40.0%	4.3%			

## ■概況 ※( )内はDI値

医療・福祉を除くサービス業の業況判断DIは前回調査時から8.6ポイント上昇したものの、前回調査同様に悪化傾向(-20.0%)を示した。

売上金額についても、8.6ポイント上昇したが、悪化傾向(-20.0%)となった。

収益についても同様に1.9ポイント上昇したが、悪化傾向(-26.7%)を維持した。

一方で材料価格については、前回同様横ばいの推移となり中立を示した。

前年同期比売上は前回調査時から55.2ポイント低下し、悪化傾向(-26.7%)となった。

同収益については40.5ポイント低下し、悪化傾向(-33.3%)に転じた。

人材については、26.7ポイント低下し、悪化傾向(-26.7%)に転じた。

残業時間についてはほぼ横ばいの推移となった。

資金繰りは良化傾向を維持し、借入によって資金調達を行った先は前回より17.1%増加し、60.0%であった。設備投資を行った先は全体の40.0%であり、前回調査時より増加した。

## ■経営上の問題点

新型コロナウイルス感染症、感染状況悪化の影響から「売上停滞・減少」が9社で最も多く、「同業者競争の激化」「人手不足」が6社と続いた。

## ■当面の重点経営施策

当面の重点経営施策は「販路拡大」「人材確保」と考えている企業がそれぞれ7社と最も多く、次点で「経費削減」「宣伝・広告の強化」「社員教育」が6社と続いた。

■特別調査	コロナ禍における事業見通しについて、および今後3ヶ月の業績見込みについて
自社業界における事業見通しについて	(1)概ね3か月以内に回復 2社 (2)概ね6か月以内に回復 2社 (3)1年以内に回復 1社 (4)1年以上経過後に回復 3社 (5)見通しが立たない 5社 (6)すでに回復している 2社
コロナ禍で信用金庫に求めること	(1)融資スタンス6社 (2)地域情報4社 (3)業界動向4社 (4)事業課題の共有・相談5社 (5)補助金等の情報1社 (6)事業回復に向けてのビジネスマッチング3社 (7)その他1社
業績(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」3社、「普通」7社、「やや悪い」2社、「悪い」3社
売上額(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」3社、「普通」7社、「やや悪い」2社、「悪い」3社
収益(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」3社、「普通」6社、「やや悪い」3社、「悪い」3社

新型コロナウイルスの影響が大きく、業況・売上・収益等様々なDIは前回より改善されているものの、未だ悪化傾向にあります。また、1月以降の新型コロナ感染拡大を受け、前年同期比売上や前年同期比収益の数値は大幅減となりました。

人材DIは前回調査時と比べ26.7ポイント低下している事や人材確保を重点施策として捉えている企業が多い事から「人材不足」は業界としての課題という事が浮き彫りとなりました。

業種別  
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
-3.2%	0.0%	3.2%	0.0%	7.1%	7.1%	-12.9%	-17.9%	-5.0%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
3.2%	3.6%	0.3%	6.5%	21.4%	15.0%	16.1%	10.7%	-5.4%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
19.4%	17.9%	-1.5%	12.9%	-7.1%	-20.0%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
53.3%	48.1%	-5.2%	23.3%	29.6%	6.3%			

## ■概況 ※( )内はDI値

卸売・小売業全体の業況判断DIは前回調査時から3.2%上昇しており、中立に転じた。

売上に関しては7.1ポイント上昇し、良化傾向(7.1%)に転じた。収益については、悪化傾向(-17.9%)を継続する結果となった。

仕入れ価格については、前回調査時より-10.3ポイント低下し、悪化傾向(-39.3%)となった。

在庫については前回比で10.7ポイントの低下となり悪化傾向となった。

前年同期比売上については、15.0ポイント上昇し、良化傾向(21.4%)を維持。

また、同収益についても5.4ポイント低下したものの、良化傾向(10.7%)を維持した。

人材については20.0ポイント低下し、悪化傾向(-7.1%)に転じた。

残業時間については前回調査時より1.5ポイント低下したものの、良化傾向(17.9%)を維持した。

なお、借入によって資金調達を行った先は全体の48.1%でほぼ横ばいとなった。

設備投資割合については、29.6%と、6.3ポイントの上昇となった。

## ■経営上の問題点

「売上停滞・減少」が10社で最も多く、前回同様一番多い回答となった。

次点で「利益幅の縮小」が9社と続いた。

## ■当面の重点経営施策

「経費節減」が14社でトップ。次点は「販路拡大」が12社、「社員教育」「人材確保」が9社と続いた。

■特別調査	コロナ禍における事業見通しについて、および今後3ヶ月の業績見込みについて
自社業界における事業見通しについて	(1)概ね3か月以内に回復 9社 (2)概ね6か月以内に回復 5社 (3)1年以内に回復 4社 (4)1年以上経過後に回復 5社 (5)見通しが立たない 8社 (6)すでに回復している 1社
コロナ禍で信用金庫に求めること	(1)融資スタンス10社 (2)地域情報12社 (3)業界動向3社 (4)事業課題の共有・相談7社 (5)補助金等の情報6社 (6)事業回復に向けてのビジネスマッチング3社 (7)その他1社
業績(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」9社、「普通」12社、「やや悪い」5社、「悪い」1社
売上額(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」8社、「普通」14社、「やや悪い」4社、「悪い」1社
収益(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」7社、「普通」13社、「やや悪い」6社、「悪い」1社

前回調査時より売上は改善傾向にある一方で、仕入れ価格が悪化傾向となり、利益幅の縮小が見受けられる。

しかしながら、自社業界における事業見通しとして「3ヶ月以内に回復」と回答する企業も9社と多く、全体的には改善傾向がみられます。

また、重点施策として「経費節減」を上げる企業が最も多く、収益改善が共通課題としてみられます。

業種別  
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
21.4%	0.0%	-21.4%	7.1%	6.7%	-0.5%	0.0%	6.7%	6.7%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
28.6%	33.3%	4.8%	14.3%	6.7%	-7.6%	14.3%	6.7%	-7.6%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
-7.1%	6.7%	13.8%	-28.6%	13.3%	41.9%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
57.1%	76.9%	19.8%	50.0%	53.8%	3.8%			

## ■概況 ※( )内はDI値

建設業全体の業況判断DIは前回調査時から21.4ポイント低下したものの、中立に転じた。

売上金額は一方で0.5ポイント低下したものの、良化傾向(6.7%)を維持。

受注残高は前回調査時よりも低下したものの、良化傾向を維持した。

収益については、前回調査時から6.7%上昇し良化傾向(6.7%)に転じた。

資金繰りについては、前回調査時より4.8ポイント上昇し、良化傾向(28.6%)を維持した。

前年同期比売上は前回から7.6ポイント低下したものの、良化傾向(6.7%)を維持した。

同収益についても、前回調査時から7.6ポイント低下したが良化傾向(6.7%)を維持した。

残業時間については前回から13.8ポイント上昇し、良化傾向(6.7%)に転じた。

人材については前回調査時から41.9ポイント上昇し、良化傾向に転じた。

借入により資金調達を行った先は76.9%であり、前回調査時より増加し、

引き続き高い借入実施率を示した。

## ■経営上の問題点

「人手不足」が7社と最も多く、次いで「原材料高」が6社と続いた。

これら問題点が経営に大きな影響を与えていると考えられる。

## ■当面の重点経営施策

「販路拡大」「人材確保」が7社で最も多く続いて、次点で「情報力の強化」「社員教育」等が続いた。

■特別調査	コロナ禍における事業見通しについて、および今後3ヶ月の業績見込みについて
自社業界における事業見通しについて	(1)概ね3か月以内に回復 2社 (2)概ね6か月以内に回復 0社 (3)1年以内に回復 1社 (4)1年以上経過後に回復 0社 (5)見通しが立たない 8社 (6)すでに回復している 2社
コロナ禍で信用金庫に求めること	(1)融資スタンス8社 (2)地域情報7社 (3)業界動向3社 (4)事業課題の共有・相談1社 (5)補助金等の情報2社 (6)事業回復に向けてのビジネスマッチング0社 (7)その他0社
業績(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」3社、「普通」10社、「やや悪い」0社、「悪い」0社
売上額(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」4社、「普通」9社、「やや悪い」0社、「悪い」0社
収益(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」2社、「普通」11社、「やや悪い」0社、「悪い」0社

売上・受注残高等、様々なDIが前回調査時よりも低下したものの、良化傾向を維持しました。

借入実施についても積極的に行っており、資金繰りについても問題なく推移している模様です。

経営上の問題点として「人手不足」と回答した企業の割合が建設業は最も多く、経営に大きな影響を与えていると考えられます。また、今後3ヶ月見込みについては対象企業の全てが「やや良い」「普通」と回答しており、業界として景気回復の兆しがみられます。



業種別  
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
-11.1%	33.3%	44.4%	11.1%	44.4%	33.3%	-11.1%	0.0%	11.1%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
11.1%	0.0%	-11.1%	22.2%	44.4%	22.2%	22.2%	0.0%	-22.2%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
11.1%	22.2%	11.1%	0.0%	11.1%	11.1%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
37.5%	44.4%	6.9%	50.0%	55.6%	5.6%			

## ■概況 ※( )内はDI値

運輸業全体の業況判断DIは前回調査時より44.4ポイント改善したものの、良化傾向(33.3%)に転じた。売上金額も前回から33.3ポイント改善し、良化傾向(44.4%)を維持した。収益については11.1ポイント上昇し、中立に転じた。

資金繰りについても前回調査時から11.1ポイント低下し、中立に転じた。

借入によって資金調達を行った先は全体の44.4%であり、前回より6.9ポイントの上昇となった。なお、設備投資を行った先は55.6%で、前回から5.6ポイントの上昇となった。

前年同期比売上は前回より22.2ポイント上昇し、良化傾向(44.4%)に転じた。同収益についても、22.2ポイント低下し、中立に転じた。

人材については前回より11.1ポイント上昇し、良化傾向(11.1%)に転じた。残業時間については、前回調査時から11.1ポイント上昇し良化傾向を維持した。

## ■経営上の問題点

「経費の増加」が5社で最も多かった。経費の増加や利益幅の縮小、料金価格が経営に大きな影響を与えていると考えられる。

## ■当面の重点経営施策

「経費節減」が4社で最も多く、次点で「人材確保」「新規開拓」が3社と続いた。

■特別調査	コロナ禍における事業見通しについて、および今後3ヶ月の業績見込みについて
自営業における事業見通しについて	(1)概ね3か月以内に回復 0社 (2)概ね6か月以内に回復 0社 (3)1年以内に回復 1社 (4)1年以上経過後に回復 0社 (5)見通しが立たない 3社 (6)すでに回復している 4社
コロナ禍で信用金庫に求めること	(1)融資スタンス4社 (2)地域情報1社 (3)業界動向0社 (4)事業課題の共有・相談4社 (5)補助金等の情報5社 (6)事業回復に向けてのビジネスマッチング2社 (7)その他0社
業績(今後3ヶ月見込み)	「良い」2社、「やや良い」0社、「普通」5社、「やや悪い」1社、「悪い」1社
売上額(今後3ヶ月見込み)	「良い」2社、「やや良い」0社、「普通」6社、「やや悪い」0社、「悪い」1社
収益(今後3ヶ月見込み)	「良い」2社、「やや良い」0社、「普通」4社、「やや悪い」2社、「悪い」1社

売上DIは、33.3ポイント改善し、良化傾向に転じました。また、収益DIについても11.1ポイント上昇し改善傾向にあります。また、経営上の問題点として前回と同様に「経費の増加」をあげる企業が最も多く、利益幅の縮小が影響を与えている可能性があります。

業種別  
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
16.7%	54.5%	37.9%	41.7%	54.5%	12.9%	25.0%	54.5%	29.5%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
41.7%	45.5%	3.8%	50.0%	72.7%	22.7%	58.3%	72.7%	14.4%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
16.7%	-27.3%	-43.9%	-16.7%	-9.1%	7.6%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
36.4%	40.0%	3.6%	70.0%	50.0%	-20.0%			

## ■概況 ※( )内はDI値

医療・福祉分野の業況判断DIは前回調査時より37.9ポイント上昇し良化傾向(54.5%)に転じた。売上金額についても12.9ポイントと大幅に上昇し、良化傾向(54.5%)に転じた。また、ベツ稼働率については29.5ポイント上昇したが、良化傾向(54.5%)となった。通院者数については前回から36.4ポイント上昇し、良化傾向(36.4%)となった。収益についても前回調査より29.5ポイント上昇し、良化傾向(54.5%)に転じた。

資金繰りについては、前回とほぼ横ばいに推移し良化傾向(45.5%)を維持。借入によって資金調達を行った先は全体の40.0%であり、前回から3.6ポイントの上昇となった。設備投資を行った先は50.0%と20ポイント低下した。

前年同期比売上は前回調査時から22.7ポイント上昇し、良化傾向(72.7%)を維持。同収益についても同様に、14.4ポイント上昇し、良化傾向(72.7%)を維持。残業時間は前回から43.9%低下し、悪化傾向(-27.3%)に転じた。人材についても前回から7.6ポイント上昇し、悪化傾向(-9.1%)となった。

## ■経営上の問題点

「人手不足」が最も多く5社であった。次点で「同業者競争の激化」「経費の増加」「商圈人口の減少」と続いた。

## ■当面の重点経営施策

「人材確保」が9社で最も多かった。次点で「経費削減」「情報力の強化」「社員教育」が続いた。

■特別調査	コロナ禍における事業見通しについて、および今後3ヶ月の業績見込みについて
自社業界における事業見通しについて	(1)概ね3か月以内に回復 1社 (2)概ね6か月以内に回復 1社 (3)1年以内に回復 2社 (4)1年以上経過後に回復 0社 (5)見通しが立たない 3社 (6)すでに回復している 4社
コロナ禍で信用金庫に求めること	(1)融資スタンス5社 (2)地域情報3社 (3)業界動向2社 (4)事業課題の共有・相談0社 (5)補助金等の情報1社 (6)事業回復に向けてのビジネスマッチング0社 (7)その他0社
業績(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」3社、「普通」7社、「やや悪い」1社、「悪い」0社
売上額(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」3社、「普通」7社、「やや悪い」1社、「悪い」0社
収益(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」3社、「普通」7社、「やや悪い」1社、「悪い」0社

ワクチン供給が普及されたこともあり、前回調査時より全面的に数値は改善されており業況・売上金額・収益DIは良化傾向に転じることとなりました。また、人材DIは前回調査時より改善傾向にあるが、依然として悪化傾向にあり、「人手不足」が経営上の問題点としてあげられます。残業時間の増加が目立ちます。今後3ヶ月見込みについては、「やや良い」との回答が前回調査時より増加しており、全体的な業況改善が見受けられる。